



事業目的・概要等

事業概要

- ①国立公園におけるユニバーサルデザインの情報発信推進事業
- ②ユニバーサルツーリズムの推進のための人材養成

期待される効果

国立公園の魅力の向上により、国立公園利用者数の増加をはじめ、地域の観光振興・活性化に寄与する。

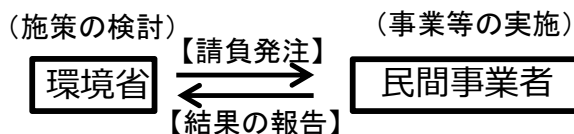
イメージ

国立公園の魅力の向上により、国立公園利用者数の増加をはじめ、地域の観光振興・活性化に寄与

背景・目的

- 「『日本再興戦略』改訂2015」において、観光は経済再生のきわめて重要な柱と位置づけ。
- 「明日の日本を支える観光ビジョン」では、「すべての旅行者が、ストレスなく快適に観光を満喫できる環境に」を観光先進国に向けた3つの視点の1つに挙げ、高齢者、年少者や障がい者等が「旅する喜び」を味わえる環境整備の促進を言及。
- 環境省では、「国民公園・国立公園ユニバーサルデザインプロジェクト」を実施し、平成27年6月にとりまとめた。

事業スキーム



課題

情報発信の方法等が不十分

高齢者・障がい者へのおもてなしが不十分

①国立公園におけるユニバーサルデザインの情報発信推進事業

- ・国立公園内利用拠点のサービス等、利用者の必要とする情報に関する調査
- ・ICTを活用し、障がい者、高齢者、ベビーカー利用者等に対するアクセス情報や施設情報、施設内の表示等に関する情報発信を強化



②ユニバーサルツーリズムの推進のための人材養成

- ・国立公園のビジターセンターの職員等に対するユニバーサルマナーの研修の実施

